

守れ9条!

こんにちは ! 日本共産党の

大名みえ子です

ご相談はお気軽にお寄せください

2007年3月9日

〒319-1112

東海村村松 2401-2

oona_toukai@yahoo.co.jp

電話・fax 029-284-0761

〔3月議会開会中〕

どう思いますか? 村が日立電鉄の土地 23,896 m²買う計画を

「使いようのない土地を買ってほしい」

・・・昨年9月前ごろ日立電鉄が村に要請・・・

来年度の予算案のなかに、日立電鉄が所有する押延区内の村松字横町(17,450 m²)、字洞の内(6,281 m²)、字大山下(165 m²)の合計23,896 m²を村が買収する予算が盛り込まれています。日立電鉄が開発に行き詰まり、不動産部門を廃止することから、昨年9月前ごろ村に「買い取ってもらえないか」との話がきたそうです。

「緑地・傾斜地保全の場がいいかも」

・・・村の対応「1,000万円では高い。600万円台でどうか」・・・

村では、緑地保全に努める考えがあり、現在緑化基金(現在1億9,000万円)を積み立てています。「当該地は緑化保全するにふさわしい」と判断し、今回の予算化となったとのこと。日立電鉄は「1,000万円」を打診してきましたが、村は交渉し、690万円予算化しました。



現在村には、緑地保全事業計画がありません

・・・企業に言われるままでいいのでしょうか。緑地保全は後付理由・・・

しかし、現在具体的な緑地保全計画や、基金運用計画が立っているわけではありません。今回の土地も「適地である」と村が以前から計画していたわけではありません。たまたま日立電鉄に打診され、「緑地保全のためということなら買う理由になるか」と、まるで求められるままに、購入を決める理由を「保全に適する」と後付しています。これでは、問題があるのではないのでしょうか。事業計画をしっかり立て、納得のいく税の活用をすべきです。

〔3月9日私の代表質問・質疑から〕

住民生活を支援する各種制度の情報提供を多面的にし、より親切な行政を

(代表質問の冒頭で述べた一部です)

地方公共団体の役割発揮に徹しているかしっかりチェックする議会

今議会は、新年度の事業及びその予算を確定する重要な議会です。議会初日、来年度の村政運営、予算編成について、村長の所信表明がおこなわれ、現政府下における本村と、村民をとりまく厳しい情勢が語られました。当然ながらこの厳しい情勢の中での、地方行政の新たな課題という点にも触れ、村長は、「このような時代であるからこそ地方行政の役割、存在意義はかつてなかったほどに重みを増してきていると認識しております。地方行政に携わる私たちは、住民の生活実態をしっかりとみつめ、住民の視点にたち、使命感を持って行政運営に携わってまいりたいと思います。」と述べられました。

この3月議会の重要性は、今後の村政運営における村の政治姿勢を、所信表明のように理論的に、そしてなによりも実践的に確立し、「住民の福祉の増進を図ることを基本として」と位置づけられた、地方公共団体の役割を発揮することに徹しているかどうか、しっかりとチェックすることにあると考えます。

大名 生活保護、国保・減免制度、障害者控除などホームページ上でも紹介を

働いているかいないかにかかわらず、生活に困ったとき、権利として誰でも申請できる生活保護制度を、住民にもっと引き寄せるために、福祉課カウンターに置いたり、ホームページ上で、制度・申請書の紹介、ダウンロードできるようにしてはどうか。

福祉部長 カウンターに置くことにし、ホームページでも紹介するようにします。

加入者が増えている国保について、制度のあり方や減免制度などホームページで紹介してはどうか。

福祉部長 7日、掲載しました。減免制度他、掲載事項がないか検討しています。

介護認定者への情報として、障害者控除の活用を（広報だけでなく）ホームページ上で紹介してはどうか。

福祉部長 6日、掲載しました。

ホームページ掲載の対応が素早くて驚きです。欲を言えば、事務的でなく村民の視点でつくる、“あったかい”ページになるといいのかな。

